

全国白バイ安全運転競技大会

大会の目的

昭和44年の第1回大会以来、白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともにその士気の高揚を図り、もって道路交通の安全の維持に資することを目的として開催されています。

競技種目

① バランス走行操縦競技

狭路等を走行させ、白バイの運転において最も大切なバランスの技術を競うもの。



② トライアル走行操縦競技

自然の地形の中を走行させ、人車の安全なバランス保持、微妙なコントロールの仕方及び正確な走路維持等の基本走行技術を競うもの。



③ 不整地走行操縦競技

走行中の危険な状況を想定した不整地を走行させ、安全運転走行の総合的な技術を競うもの。



④ 傾斜走行操縦（スラローム）競技

指定されたS型、クランク型複合の曲線コースを走行させ、バランス、ブレーキの使い方、アクセルワーク等極めて高度な運転機能を競うもの。



参加選手等

- 男性の部（153人）
 - 第1部（9都府県警察）36人
 - 第2部（皇宮警察及び上記第1部以外の道府県警察）117人
- 女性の部
都道府県警察等につき2人まで

開会式

